

議会だより

12月の
定例会

- 2 全員協議会報告
特定復興再生拠点区域の
点・線拠点の避難指示解除に向けて議論!!
- 4 こんなことが決まりました
11月臨時会・12月定例会

8 ズバリ!! 町政を問う
3議員が質問

16 行政視察報告
先進地に学ぶ



富岡町議会の
ホームページはこちら

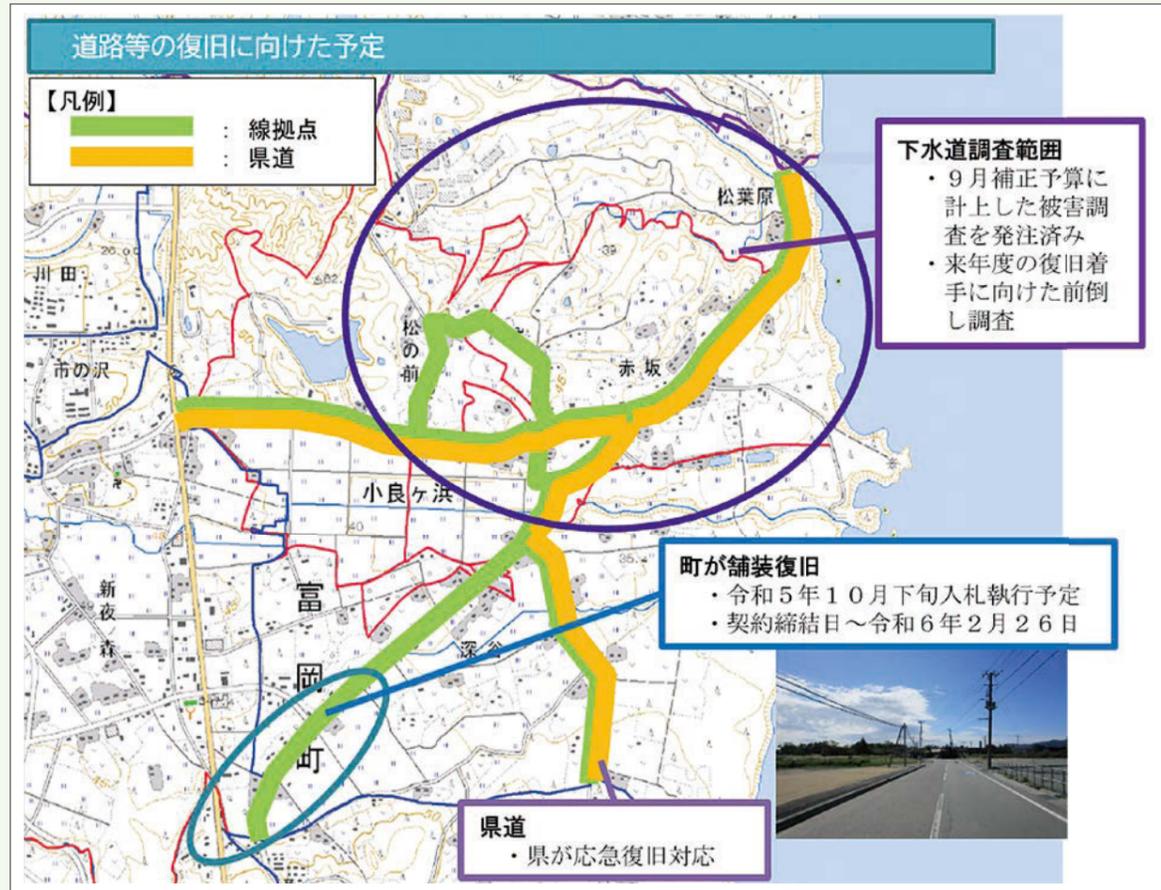
晴れ着で祝う二十歳の門出／富岡町二十歳を祝う会

特定復興再生拠点 点・線拠点

区域の 避難指示解除に向けて議論!!

令和5年10月19日開催の全員協議会において、町より特定復興再生拠点区域の点拠点・線拠点の避難指示解除に向けた取組について説明を受けました。

具体的な取組として、道路等の復旧に向けた予定やバリエードに関する事、防犯対策の強化や国の方針について等、意見が交わされました。



令和5年10月19日開催 全員協議会資料より抜粋

- 令和5年4月1日 > 夜の森地区を中心とする特定復興再生拠点区域(面拠点)の避難指示解除
- 令和5年5月末まで > 小良ヶ浜地区・深谷地区の点拠点および線拠点を除染完了予定
- 令和5年5月19日 > 除染完了困難のため同年11月末まで計画延長
(富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画の変更)



- 令和5年11月末まで > フォローアップ除染をはじめ放射線量の低減、インフラ復旧計画の協議・調整、バリエード撤去及び設置に係る地元住民への意向調査や国協議、防犯対策強化の検討・協議などの取組を展開
- 令和5年10月19日 > 全員協議会において、議会は解除の時期を町に一任
- 令和5年11月6日 > 特定復興再生拠点区域の避難指示解除に係る国・県・町による三者合意式
- 令和5年11月30日 > 特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の避難指示解除

点拠点とは?

小良ヶ浜地区・深谷地区の墓地や公共施設(集会所等)

外縁とは?

原則として特定復興再生拠点から【宅地・農地】20mの範囲内にある一筆【森林・道路】最大20mの範囲

線拠点とは?

点拠点へのアクセス道路



三者合意を経て、11月30日に行われた防犯防火活動出動式(右)とゲート解除の様子(左)

答 竹原副町長
 今回の除染検証委員会の結果は、解除に向けては将来を見据えても概ね値は満足しており、点・線拠点については概ね解除できるという判断になったことから、それを基に進めたい考えです。
 今後の除染については町としてもしっかりと注視します。

答 環境省
 きちんと線量を下げるべく、現在フォローアップの除染手法を含めて検討し、実施しています。線量低減のためにできることをやっていきたいと考えています。
問 解除のためには、除染終了後にもう一度除染検証委員会を開いて検証することが望ましいのではないかと。線量が高い箇所がある現時点において、解除のための議論をすることは納得がいかない。(渡辺三男)

答 企画課長
 今後の仮のインフラについては、国と協議をして不便がないよう、設置に向けて検討したいと思っています。
問 除染検証委員会において、未除染地の継続的な除染や事後モニタリング・フォローアップ除染の確実な実施を条件に、今後の利活用に向けた回復が概ねなされているものと判断できるとあったが、小良ヶ浜共同墓地周辺の線量が高い道路部分に不安がある。国の考えは。(遠藤一善)

答 企画課長
 除染検証委員会においても1ミリシーベルト以下ということに意思統一しています。
問 仮設のトイレや水道などを整備する考えは。(宇佐神幸)

答 町長
 町としては1ミリシーベルト以下を目指していきます。

問 避難指示解除の要件で年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であることとあるが、町は1ミリシーベルト以下を目指すという意思表示はしっかりとしてもらいたい。(安藤正純)



一般会計
補正予算

事業精査による増額
《23億6,220万円を増額補正》

各種事務事業の進捗と、今後の事業展開などの精査調整による増額計上により23億6,220万円の増額補正を行い、総額173億3,480万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
基金積立金(財政調整基金積立金 他5基金)	29億6,527万円増
物価高騰対応経済対策給付金事業費(給付金・委託料 他)	1億1,548万円増
農業復興対策事業費(補助金・委託料 他)	1,001万円減
営農再開支援水利施設等保全事業(委託料)	1,500万円減
道路維持管理事業費(委託料・工事費 他)	3,414万円減
富岡町防火防犯パトロール事業費(委託料 他)	6億860万円減
文化交流センター施設管理費(委託料・工事費 他)	6,104万円増
体育施設管理費(委託料)	3,007万円増
その他	1億4,191万円減

【富岡町個人番号カードの利用に関する条例の一部を改正する条例】

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い改正をすることについて、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【改正の主な内容】

- ①コンビニ交付等で、新たに創設された移動端末設備用電子証明書を搭載したスマートフォンでの申請に対応できるよう改正する。
- ②窓口受付端末機が更改されたことにより、事務手続きが変更になったため、所要の改正を行う。



条例の改正

【富岡町総合体育館耐震補強及びその他改修工事】

富岡町総合体育館耐震補強及びその他改修工事の金額の変更について、可決しました。

(11月臨時会) 全会一致・原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 金額
(変更前) 4億5,402万5,000円
(変更後) 4億7,269万2,000円
- 変更理由
・施工内容に変更が生じたため金額を変更



工事のための仮囲いと足場がかけられた総合体育館

【放課後児童クラブ備品購入】

放課後児童クラブにおける什器備品を購入することについて、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 取得予定価格 1,016万4,000円
- 契約相手方 富岡町大字本岡字新夜ノ森176番地の3 サトウ事務器機
- 購入物内訳 児童クラブ室用机・イス、子ども教室用机・イス・イス収納ラック、教員用机、来客用机・イス、屋外用テーブル・イス、ロッカー 等



小・中学校の西側に建設中の放課後児童クラブ



工事請負契約の変更

こんなことが決まりました



動産の取得

令和5年第6回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果	
◆条例の一部改正案件			
議案第45号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第46号	富岡町課設置条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第47号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第48号	富岡町税特別措置条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第49号	富岡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第51号	富岡町印鑑条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
追加議案第58号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
追加議案第59号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
追加議案第60号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
◆補正予算案件			
議案第54号 追加議案第62号	令和5年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) (第3号)	全会一致 全会一致	原案可決 原案可決
議案第55号 追加議案第63号	令和5年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) (第3号)	全会一致 全会一致	原案可決 原案可決
議案第56号 追加議案第64号	令和5年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) (第3号)	全会一致 全会一致	原案可決 原案可決
議案第57号	令和5年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
追加議案第65号	令和5年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決

※第6回定例会における「動産の取得」、「令和5年度一般会計補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。各議案の内容については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。



臨時会・定例会審議議案一覧

令和5年第5回臨時会で審議した議案とその結果

審議議案・概要		結果
◆専決処分の報告及び承認		
議案第43号	専決処分の報告及びその承認について (富岡町令和5年台風第13号による被災者に対する町税等の減免に関する条例)	全会一致 原案可決

※第5回臨時会における「工事請負契約の変更」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。



「富岡町令和5年台風第13号による被災者に対する町税等の減免に関する条例」

問 減免対象の損害について、「全壊」の基準は。(渡辺三男)

答 生活環境課長

水害等において、全壊は床上浸水1メートル80センチ以上が基準です。

〔一般会計補正予算〕

問 環境衛生事業費の消耗品費の減額理由は。(佐藤教宏)

答 生活環境課長

除草剤の購入費用として、参考見積と実際の金額との単価の差額です。今年度必要な個数を精査し、確保した上で減額しました。

問 町道の維持管理委託料が減額となっている。町内でランニングや散歩をする人が増えていることから、路側帯などの除草に力を入れて町内の道路環境を維持してもらいたい。(遠藤一善)

答 都市整備課長

物価の上昇や突発的なものを見込んでの計上でありましたが、9月定例会において同様の指摘があったことから、同委託料から歩道の除草も行っています。今後もパトロール等で確認し、対応していきます。



問 スクールマネジメント委託料の事業内容は。(安藤正純)

答 教育総務課長

双葉郡教育復興ビジョンに携わった専門家の方に、富岡小・中学校およびこども園を訪問していただき、教職員に対するアドバイス等の支援や、双葉郡教育復興ビジョンの背景や方針等の理解促進をしていただくための事業です。

問 今回解除された点・線拠点において地域の消火栓と消防施設の様子は。(宇佐神幸一)

答 生活環境課長

臨時の防火水槽を集会所等に配置することで非常時に備えることを検討しています。水道工事の進捗や農業水利の再開などを確認しながら消防水利の確保をしていきたい考えです。消防団との協議を行い、今後消防屯所の復旧なども検討していきます。



遠藤 一善 議員

問 夜の森地区に交流拠点整備を

答 先々を見据え必要な施設を整備

問 町長 住民交流の要となり得るリフレ富岡跡地を、健康づくりに限ることなく、買物環境の確保をはじめにぎわいづくりを含む施設を中核拠点として整備検討の最加速化を図ります。また、当該地区の発展に向け、先々を見据えつつ、あらゆる角度からの検討を進め、この地域に必要な施設の整備とともに、桜まつりに代表さ

答 本年4月に避難指示が解除された夜の森地区は、現在住民が集い楽しく暮らすための施設が何もない状況である。優良な住宅地を有するこの地区のこれからの再生、発展を考えていくとき、住民交流拠点施設の整備が急務であると考えるが、



今後、整備が進む予定のリフレ富岡跡地

れる各種イベントの開催等の住民交流の活性化に資する取組を進めます。

問 これからの夜の森地区を考えると、どこにいった施設があれば、この優良な住宅地を再生、発展させていくという方針で考えているか。

答 高野副町長 良好な環境をアピールしていく情報発信も非常に重要と考えます。また、景観も含め町づくりを計画的に進めていくということも必要であると考えます。

問 都市整備課長 今後、四季折々の花が咲く町づくりとして、令和6年度に公園整備の基本構想を考えています。

答 企画課長 第三次計画の骨子を今年度、来年度でまとめていく最中です。先進地の事例も踏まえ、ゼロからどうやって人を呼び込みたいかというところを観点に、あまり華美なものではなく、住む人が快適に毎日を送れるような町づくりをしていきたいと考えています。



問 町長 ご提案の観光資源を有効活用した案内看板の設置につきましては、観光交流人口の拡大を目指す上では大変有効であると考えます。観光資源の積極的な発信に向けて、案内看板の設置の検討を鋭意進めます。



映画のロケ地にもなった桜並木

問 産業振興課長 2月上旬にまちなかパークレットを初めて夜の森公園を活用して開催しました。住民が参加しやすいような空間、機会をつくっていくこと、それに必要な施設をつくっていくことが大事かと思えます。

問 映画やテレビドラマのロケ地に選ばれる

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!!

町政を問う



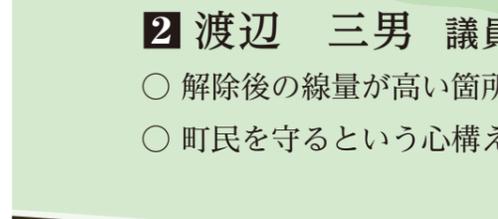
3議員が質問

12月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 遠藤 一善 議員..... 9

- 夜の森地区に交流拠点整備を
- 観光説明看板の設置を



2 渡辺 三男 議員..... 10

- 解除後の線量が高い箇所への対応は
- 町民を守るという心構えを



3 佐藤 教宏 議員..... 11

- 町の財政状況を分析した結果は
- 生涯学習施設の充実で人口減少抑制へ



問 観光説明看板の設置を

答 案内看板の設置を検討

問 映画やテレビドラマなどの撮影地や桜並木など、すばらしい観光資源が点在している。しかしながら、そのポイントとなったところの説明、桜並木の由来や説明など、それらの場所を示す説明看板等がない状況である。町外から訪れる人が分かりやすく町内巡りを楽しめるようポイントを作り、町内を循環して頂くべきでは。

答 企画課長 ロケ地、観光スポット、その他重要なところをつなげていくプラン、こちら私どもにも欠けていた部分があると思います。今後、そのつなげ方を町内外の関係機関の方と協力していきます。

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



山本 育男 町長

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 健康づくり課
 - 福祉課
 - 郡山支所
 - いわき支所
 - 生活環境課
 - 農業委員会
 - 都市整備課
 - 産業振興課
- 【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜街路樹の保全について＞

Q 6月と9月に行う桜の木への薬剤散布の目的は害虫駆除か。

A 桜並木や、群生している桜の木についた毛虫等の病害虫の駆除を目的とした薬剤散布です。【都市整備課】

＜公園管理の進捗について＞

Q 夜の森つつみ公園の復旧工事の進捗は。

A 今年度で一通りの復旧が完了する予定です。除染で撤去したベンチや水飲み場は上期に完了しており、年度内までにトイレの改修工事と外周の舗装工事が完了する予定です。



復旧工事の進む夜の森つつみ公園

【都市整備課】

＜自家消費野菜等の放射能の状況は＞

Q 町内で採れた自家消費野菜等について、スクリーニングレベル(50Bq/kg)を超過したものの種類と数値は。

A 9月から11月中旬までの主な結果は表のようになっています。かぼちゃにつきましては、未除染での作付けも考えられることから、土壌の放射能検査も併せて行うように調整中です。クルミにつきましては、殻を割って可食部(実)のみの結果が570Bq/kgであり、殻へのセシウム移行はないという結果になっています。

【健康づくり課】

単位:Bq/kg

野菜類	しそ	80
	みょうが	56
	かぼちゃ	73
果物類	ゆず	81
きのこ類	ナラタケ	2140
	アマタケ	108
	コウタケ	870
種実類	クルミ	320
	栗	124
その他	ハチミツ	88

＜今後のえびす講市について＞

Q 11月に開催されたえびす講市は大変賑わっていたが、反面「駐車場から会場までが遠かった」「曲田地区の年配の方が歩いていくのに大変」等の声もあった。今後の開催場所等を計画する際に考慮を。

A 平成29年度は曲田地区、平成30年度以降は富岡第一小学校跡地において開催されました。令和5年度は富岡小・中学校西側において放課後児童クラブの建設工事があったことから、中央商店街での開催となりました。今後も状況を見ながら、いただいた意見も踏まえて運営委員会において協議します。



13年ぶりに中央商店街での開催となったえびす講市

【産業振興課】

＜環境美化の促進対策を＞

Q 草刈り機の貸出しについて、平日だけではなく土日も対象に入れることで町内の環境美化につながると思われるが、どのような対応をとっているのか。

A 土日の貸出しにおいて事故があった際の対応策等が定まっていないため、現在は平日のみの貸出しとなっています。今後、草の繁茂時期には体制がとれるよう検討していきたい考えです。【生活環境課】

所管外の説明でこんな質疑がありました!

＜復興計画策定への要望＞

Q 富岡町災害復興計画(第三次)の策定までは、どのような計画となっているのか。また、先入観にとらわれず柔軟な発想をもって策定に望んでほしい。

A 今年度に骨子案を策定、来年度に計画本体を策定する予定です。これまで10回開催した町民主体のワークショップにおいていただいたご意見や検討委員会でのご意見を踏まえて計画を策定していきます。

【企画課】

行政視察 先進地に学ぶ

総務文教常任委員会は、令和5年10月5日から6日にかけて、埼玉県杉戸町および茨城県境町(さかいまちづくり公社)の行政視察を行いました。



富岡町は、令和5年4月に夜の森地区を中心とした特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、現在は住環境、商圈の再開、インフラ復旧など生活基盤の整備が急ピッチで進められており、帰町を促し移住定住人口や交流人口の増加を図ることが重要な課題であります。また、住民同士の交流施設や健康増進施設、子育て支援施設等が必要である反面、税収の減少が深刻な問題でもあることから、本町に合う形での施設建設や運用を模索しています。

そこで、町の活性化や地域問題の解決、コミュニティの再生等、「まちづくり構想」により様々な取組を行う埼玉県杉戸町の政策と、全ての小中学生に対し先進英語教育を無料とするなど子育て世代への移住施策や維持管理費ゼロの公共施設運営、PFI住宅事業等を行う茨城県境町の政策について学ばせていただきました。

その他にも、それぞれ魅力あるまちづくりの手法や子育て支援政策についての施設見学も行い、今後の富岡町のため勉強してきました。

富岡町との友好都市！

杉戸町

人口 約44,000人 /
面積 30.03km²

「まちづくり構想」に基づく リノベーションまちづくり

リノベーションまちづくりとは

空き家、空き店舗、空き地等の既存の土地建物や活用されていない公共的な空間といった遊休不動産、地域の潜在的な資源「ヒト・モノ・資産」を組み合わせ、民間主導でまちの活性化や地域課題の解決、地域コミュニティの再生等を図ることを目的としています。

“古民家オープンシェアスペース 八百宿”
たくさんのひと・もの・コトが宿る場所



“リノベーションスクール@杉戸” 遊休不動産を題材に事業プランを考え、提案する実践型スクール



“わたしたちの月3万円ビジネス”
女性の活力を引出し まちなかを担う人材の育成



“旧杉戸小学校跡地活用事業”
多世代が集い、利活用できる公共空間の整備

境町

人口 約24,000人 /
面積 46.59km²

維持管理費ゼロの 公共施設運営について

維持管理費ゼロの公共投資「境町モデル」の確立

施設運営を事業者に委託し、運営コストは事業者が負担することで運営管理費がゼロ円に。また、事業者からの施設利用料(賃料)と国の補助金を活用することで、施設整備費用の回収ができ、町の収益になっていく仕組みです。

“自動運転バス”

誰もが生活の足に困らない町へ



“道の駅さかい”

ふるさと納税×道の駅 リアルマーケティング



“ニコニコパーク”

大型の屋根により雨の日でも遊べる公園に



“子育て支援センター” 子どもと過ごせるワークスペースなど、様々なエリアやイベント等で子育て世代を支える

研修所見

今回、民間主導のまちづくりをしている埼玉県杉戸町と茨城県境町を視察。

杉戸町では、老朽化や利用率が低下した施設などの公共空間を町主導で再編し、民間事業者がその公共資源を活用し、町の魅力を創出することで、人が流し出せずに町内でお金を循環させるまちづくりを進めていた。

境町では、ふるさと納税や国の交付金等を活用しながら、利益を生み出す「さかいまちづくり公社」と連携し、町の財政負担が少ない公共施設の建設や管理運営を実現させている。

両町とも人口減少による財源確保について危機感を持っており、持続可能なまちづくりを目指している。富岡町はさらに危機感を持って事業を進めなければならないと痛感させられた。

(総務文教常任委員会
副委員長 佐藤教宏)

【放射線管理の対策は】



宇佐神幸一議員

2号機燃料デブリ試験的取り出し作業について、高線量下における作業と思われるが、放射線管理の対策は。

放射性物質が外部へ流出しないよう隔離部屋を設け、その内部で作業を行っています。また、基本的には遠隔での作業ですが、作業員が現場に近接する場合には作業時間を短くして被ばく線量が高くないよう管理しています。



東京電力HD(株)

【現場管理の方法の検討を】



東京電力HD(株)

ヒューマンエラー防止のため、現場の中でデジタル機器等による管理を取り入れてみてはどうか。

現場の他の設備や機器に影響がないか、厳重な装備により操作が困難ではないかなどを考慮する必要がありますが、現場の管理について従来のやり方を考えるだけに留まらず、ご提案も踏まえて様々検討していければと考えます。



渡辺正道議員

【装置の取り扱いに対する意識向上を】



遠藤一善議員

配管洗浄のための仮設ホースが外れたことによる身体汚染の事象があったが、本設にする考えはないのか。今回の件に限らず装置を取り扱う際の意識の向上と管理を東京電力自らが徹底してもらいたい。

仮設の部分を本設化する、または仮設をよりしっかりしたものにするといったところは、改めて手順や設備の見直しが必要と考えています。今回の事案を踏まえた再発防止対策を検討・実施し、他作業への水平展開を通じて廃炉作業における安全確保に努めます。



東京電力HD(株)

【全ての町民の賠償完了のために】



東京電力HD(株)

第五次追補を受けた賠償について、最後の一人まで洩れなく全ての賠償が受けられるよう新聞やテレビ、webなどで周知徹底を図ってもらいたい。また、Q&Aを作成するなど、様々な周知方法を要望する。

今後も広告の方法の掘り起こしなど工夫しながら検討していきます。

【広告実施(12/22時点)】

Web(12/8~1/17)、ラジオ広告(12/18~1/17)、新聞(12/13・19・26・1/6)、バス広告(12/18~1/16)



安藤正純議員

町の重点事業について 徹底議論!!

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について (環境省)

問 除染・解体工事の進捗は、年度末までには完了予定だったが、年度末まで延期となつてしまつた箇所について、年度末を待たずに早急に終了させる考えは。(佐藤教宏)

答 環境省
全ての案件を年度末までかけるつもりはなく、可能な箇所からできるだけ迅速に対応したいと思つていきます。

問 国では、解除要件のひとつとして追加被ばく年間20ミリシーベルト以下となつていますが、町としての長期目標は年間1ミリシーベルト以下であることを念頭に置いてもらいたい。(渡辺三男)

答 環境省・内閣府
原災本部で決められた要件として20ミリシーベルトがありますが、国としても1ミリシーベルトを目指し、線量を下げることができると探しながら、丁寧なフォローアップに加え様々な防護措置なども総合的に取り組み、対応していきます。

問 小良ヶ浜地区・深谷地区は道路と森林が密接している箇所が多くあり、線量が高い部分も残っている。今後の線量低減のための管理は。(宇佐神幸一)

答 環境省
モニタリングとフォローアップ除染で、安心いただけるような形にしたいと考えています。ひとつひとつの現場に応じて最も適切な方法を、地元の方にご理解いただけるような形で進めます。

問 湖底の土砂の放射線量が高かった場合に考えられる影響と、対策をとる考えは。(安藤正純)

答 福島県
湖面から1.5メートル下の水を取水しているため、湖底の土砂の混入は基本的になく、取水量・水質にも影響がないと考えられるため、現時点では除去等の予定はありません。

問 令和6年度より施設管理が福島県から町に委託されるのに伴い、各種操作や災害時の対応等の引継ぎはしっかりとやらせてもらえるか。(堀本典明)

答 福島県
放流や警報発出の訓練、修繕等については当面の間、県と町で一緒に進みます。

◆滝川ダム建設に至る経緯と今後の施設管理等について (福島県)



令和6年度より、福島県から富岡町に管理委託される農業用滝川ダムの現地視察を行い、県の担当者より施設等について説明を受けました。

問 湖底の土砂の放射線量が高かった場合に考えられる影響と、対策をとる考えは。(安藤正純)

答 福島県
湖面から1.5メートル下の水を取水しているため、湖底の土砂の混入は基本的になく、取水量・水質にも影響がないと考えられるため、現時点では除去等の予定はありません。

問 令和6年度より施設管理が福島県から町に委託されるのに伴い、各種操作や災害時の対応等の引継ぎはしっかりとやらせてもらえるか。(堀本典明)

答 福島県
放流や警報発出の訓練、修繕等については当面の間、県と町で一緒に進みます。

9番 渡辺三男

今期四年の議会活動の中で印象に残った事は、夜の森地区の困難区域が除染解体作業で線量を低減させ、夜の森地区が全面避難指示解除できた事です。町長・副町長始め役場職員と町議会が心ひとつにして臨んだ結果と考えております。残された困難区域、小良ヶ浜・深谷地区の除染解体を進め、一日も早い全面解除を願っております。

4番 渡辺正道

在職中には、夜ノ森駅の東西自由通路橋上駅舎・カントリーエレベーター・さくらの郷等施設の開所、特定復興再生拠点の解除と喜ばしい事でした。しかし、更なる施設運営・有効利用が必要であり、財政状況に鑑みながら町のあるべき姿・進むべき姿を常に想い描き、「住みたくなる富岡町」を念頭に活動してきた四年間でした。

7番 安藤正純

三期目に入り常任委員会委員長を経験し考え方に変化を感じております。以前は原発事故による健康被害と賠償を政策の柱としておりましたが、今期は更に「富岡町が持続可能な自治体であるために!!」を真剣に考え、財政面で長期的に心配な点があり経費削減を視野に入れながら町執行部提出の議案を質したいと思えます。

8番 宇佐神幸一

4年間の議員在任中に一番の印象に残る事は、解除後の町民が富岡町内に定住される人々が少なく又地域の産業も元の活気ある商い戻らず問題点が多く、これからは町内に交流人口を増やす事が急務であり住みたる町民の安定不安なく多くの人々が来る町でありたい、それと富岡町一つ柱を築きたい。

5番 高野匠美

唯一の女性議員として、様々な環境で働く女性の立場に立ち、できうる限りの支援ができる町づくりに目指し、女性がいきいきと希望を持って生活できる事が町の発展にも繋がる事と考えております。社会では女性の活躍が叫ばれ様々な取組が進められています。男女共同参画社会の実現に向けた課題解決に努力してまいります。

6番 遠藤一善

4年間の議員活動を振り返り最も印象に残っているのは、夜の森地区を中心とした特定復興再生拠点区域の避難指示解除です。12年の歳月を要しましたが、富岡町そして夜の森の再生に向け微力ながら関わることができたことは一生忘れられることができません。4年間、共に進んできた町民の皆様改めて感謝申し上げます。



4年間の任期を振り返り 印象に残っていることは？ 10人の議員が 思いを綴ります

3番 佐藤啓憲

令和2年4月に初登庁してから、早いもので4年間の任期満了を迎えることになりました。この間、富岡小・中学校が再開され、わんぱくパークにおいても子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。今後は、解除された特定復興再生拠点区域の復興と、残された小良ヶ浜・深谷地区の帰還に向けた課題に取り組んでまいります。

1番(副議長) 堀本典明

今期は副議長として4年間務めました。新型コロナウイルスの影響で国や県への要望活動が制限され、各種イベントも中止となり、議員活動も大きく制限された中でも、特定復興再生拠点の避難指示解除に向け、現地調査や国との会議を通して少しでも町民の皆さんが安心できる環境となるよう議員一丸となって取り組めた事が印象深いです。

10番(議長) 高橋実

今期は、議長として町の政策に誠心誠意取り組み臨んだ四年間でありました。町は児童施設や老人福祉施設、農業関連施設等の開所、夜の森地区の避難指示解除など復興の歩みを感じられる反面、小良ヶ浜地区・深谷地区の全域解除に向けてはまだまだ課題が残っており、最後の最後まで尽力する次第でございます。

2番 佐藤教宏

コロナ禍もあり、思うような議員活動ができなかった四年間だと悔いています。そのような中でも、町政懇談会や意見交換会に参加することで町民の声を聞かせていただいたり、更には、着実な復興を目指すため、町の存続に重要な財政運営や魅力あるまちづくりに欠かせない生涯学習の推進について提案等させていただきました。



打ち合わせは
全員とwebで。

議会を傍聴しませんか？

- 3月定例会は、6日(水)～11日(月)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



新年あけましておめでとうございませう。

表紙は、二十歳を祝う会での一コマです。震災当時小学一年生だった新成人の皆さんには、富岡町での思い出は少ないと思いますが、二十歳を祝う会に出席していただいた事は、町の未来に大きな希望になります。

今回の議会報は同じ委員で編集する最後の号となりました。4年間、町民の皆さんに議会活動を少しでもお伝えできるよう心掛け編集してまいりました。今後は改選後新しい委員での編集になると思いますが、引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。
4年間ありがとうございました。
(堀本 典明)

編集後記

発行責任者

議長 高橋 実

議会広報特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

